

滞空型 U A V（シーガーディアン）の 鹿屋航空基地への配備について

- 防衛力整備計画において、広域での洋上監視能力を強化するため、滞空型無人機（U A V）を整備することとしており、令和 6 年 1 1 月に M Q - 9 B（シーガーディアン）を導入機種として選定しました。
- 配備先については、鹿屋航空基地・八戸航空基地とさせていただきたいと考えており、令和 1 0 年度から海上自衛隊による運用を開始させていただきたく、そのための準備を行うため、令和 9 年度から鹿屋航空基地において民間企業による飛行を開始したい考えです。
- なお、民間企業による飛行の機会に、航空自衛隊による対領空侵犯措置における滞空型無人機（U A V）の活用にかかる検証もあわせて行う予定です。